

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

2015年6月号《No12》

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-20-102

TEL 042-577-6181/FAX 042-577-5574

今月の聖句

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存在するからです。

コリントの信徒への手紙二 4章 18節

主題

| | | |
|---------|-------------------|------------------------------------|
| 国際会長 | Isaac Palathinkal | 「言葉より行動を」「今すぐやろう！」 |
| アジア地区会長 | 岡野 泰和 | 「未来を始めよう、今すぐに」 「ひとつのアジア、世界はひとつ」 |
| 東日本区理事 | 田中 博之 | 「誇りと喜びを持って」 |
| あずさ部長 | 望月 勉 | 「スピードをもって前に進もう」 |
| 武蔵野多摩会長 | 宮内 友弥 | 「共に学びあい、活かされる社会を目指して」 |

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさとう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

5月の出席率91% 在籍者11名 出席者10名 ゲスト1名 にこにこ8750円

事実と予想

清水 彰直

予想とは、「夢や希望」を含み、人が生きて行くのに必要なことである。しかし、人の社会では「事実と予想」を区別することが必要である。その典型的な事例は、スポーツ、及び司法制度である。スポー

ツでは、個々人が自分の予想を主張するのは自由であるが、個々人の予想と事実は区別している。また、司法制度では、犯罪行為を実施したという客観的事実が無ければ、人は罰せられない（無実の人は罰しない）。また、自然現象（例えば気象情報）についても、事実と予想を区別する。

予想の原則として、予想には「根拠となる事実」と「論理」が必要である。

「根拠となる事実」については、誤差と適用範囲があることを認識しなければならない。例えば、実測値には測定誤差があり、また、統計値には統計誤差がある。また、適用範囲については、例えば、「気象情報」は場所と時間により異なる。一方、物理や化学の法則は適用範囲が広い。

また、「論理」については、以下の三点が必要である。

- ① 二者択一 → 定量的評価へ（安全か危険か → リスク（危険性の定量化）へ）
- ② 他の原因との比較 → 全体での位置付け（例：電力全体の中での「太陽光発電」の位置付け）
- ③ 適切な専門家の選択（例：人の健康への影響は「医学」の役割、但し、近年、医学の専門家は細分化されている）

5月例会の様子

日時 5月13日 19時 場所 西東京センター

司会 松田ワイズ 聖書・祈祷 小坂メネット 受付 伊佐・渡邊ワイズ

卓話 セルフイメージ（自己概念）について ー私はなぜ私であるかー

児童擁護施設東京育成園 園長 渡邊 俊彦 氏

渡邊師の山口ワイズから紹介。渡邊師に8年前一度卓話御お願いしています、本当は牧師さんです。それ以外に育成園の園長、医療福祉専門学校で人間関係論の講座を担当していただいています。

卓話。今月のブリテンにも「自分を愛するようになり人を愛しなさい」とあり自分を愛することが出来ないものはとなり人を愛することはできない。とイエスは言っている。実は自分を愛することは非常に大切なことです。

日本の社会は自分を愛することは利己愛、エゴイズムで、よくないし自己犠牲が美德と理解しているがイエスは「自分をケアし大事にしなさい、自分を愛せないものは、となり人をも愛せない」と言っています。人は愛されたようにしか愛することが出来ないし、愛された分しかひとを愛することが出来ないのです。ではひとを愛するという事はどういうことでしょうか！

この問題は私たちのセルフイメージ（自己概念・自己像・セルフエスティーム・セルフコンセプト）と深い関係があり私たちのセルフイメージが歪んでいるとひとを愛することが出来ないし、また歪みはいろいろな形で出てきます。健全な自尊心はプライド形成に重要な問題です。

現在よく使われる自己実現「自分はこうありたいという姿」という言葉をセルフイメージとつなぎ夢をみ続けているといつかはその様になれると信じさせられています。

私はそれに非常な違和感を感じます。

自分に自信が無くおどおどしていると「自信を持ちなさい、高く持つと「傲慢、生意気」と言われ。自己紹介するとき「わたしは明るいです・ちょっと根暗です・あわて者です」といっているのは他からの評価の復唱ではないでしょうか。

外からの評価で自己概念を形成されたセルフイメージが非常に低い人はIQがどんなに高くてもその人の能力を発揮する事が出来ず適切な人間関係確立されず孤立感にさいなまれる、つまり否定的なメッセージを受けていると否定的な自己概念を形勢してしまいます。

現在はコミュニケーション能力が低いといろいろな現場で言われています。学生のコミュニケーション能力が問われていますね。

ではどうすればよいか、自分探しのたび・存在理由・人の役に立つ・成功体験を重ねようなど言いつづけられているが、それも外からの評価で上がったり下がったりし違和感を感じます。

セルフイメージ自己肯定感が重要です、あるがままといっても何でもよしではありません、自分さえよければ、人殺しもOKになってしまいますね。**セルフイメージは高すぎても低すぎても駄目なのです。自己発見する、私という存在は目に見えないが存在します、ありのままとして受け止める自己肯定観を持つことです。**

美しく老いるということはセルフイメージと非常に関わりあっています。生活の中でどう関わるかの決断です。元気なうちに次世代を育て、出来なくなったらゆだね開け渡す決断です。健全なセルフイメージをもてないとそれが出来ず問題老人になります。

重要なことをもう一つ、子供のセルフイメージは親のセルフイメージと同じです。子供はなぜか母親にどんなむりじいをさせられても母親が好きなのです、気に入られようとします、それを越してしまうと問題児になります。(育てるといことは自分で考え、そうしようとするキッカケやヒントを与え続けることか！勉強しなさい、かたづけなさいの連呼は自分の押し付けか！)

科学的論拠の卓話に皆の顔は魅了されていたが私には納得いかない何かが残った、何なのか考え続けやっと気付いた。人間の判断は八割が直感で完全な理論的判断は二割といわれている、何時でも何処でも誰でも同じ答えの出る科学的論理にのらない直感・第六感それにとんびが鷹を産んだとか孤児育ちのセルフイメージは誰と同じなのか等々も、まな板に乗せた卓話をもう一度と願った。

例会スピーチを聞いて

山口 直樹

5月の例会スピーチは渡辺俊彦先生の「セルフイメージ(自己概念)について 私はなぜ私であるのか」。お話を聞きながら、話は専門的で難しいところも多かったのであるが、私なりに感じたことを述べてみたい。

自分とはなんなのかを考えるチャンスを与えられた。この年まで、様々なことを体験し、特に人にかかわる仕事をしてきたと私には、大変良いチャンスであり、また興味深く、そして混乱が増した時間であった。しかし、その中でいま自分が立っている拠りどころをもう一度肩の力を抜いて客観的にみるチャンスとも感じられた時間でもあった。

「今の自分をありのまま、そのまま受け入れる」私も周りのお年寄りを見てきて、まさにその心境になられたと思える方たちが本当に楽しそうに生活をされていたのを肌で生で実感してきたことを場面を思い出していた。老人ホームにいた時の私の課題は、どうしたらそのようになれるのかを探ることだったが、いまだにわからない。

マズローにおける5段階欲求はなんであったのか。特に高齢者とのかかわりの中で人とは何かを体験的に学ばせていただいた私には、ちょっと目からうろこの感じも。「自己実現」の次の6段階目の欲求なのかも?今まで接したお年寄りの方々、また、実際に最後にかかわることができた我々の親たち。一緒に生活していくときに、私はまず今彼らは何を自分の安心として、また生きている喜びを感じるものとして求めているのかを感じようとして、接してきた。そうしてその場面を見直してみると、イメージしていた自己実現ではなく、「今、ともにいること」「存在としてお互いを感じること」だったのかもしれない。また、それが我々の安心でもあり、拠りどころでもあり人としての成長(?)の証しでもあったような気が

する。ありがとうございました。

＜西東京 YMCA 便り＞

村山 達哉

5月もあっという間に過ぎ、日中は汗ばむほどの気候となりました。急な気温の上昇による熱中症の危険性なども聞かれます。体調など崩されませんよう、ご自愛ください。

西東京センターでは、5月17日（日）に今年度で3回目となります、日帰りプログラム「ワンデイトリップ」を開催いたしました。幼児・小学生を対象に、YMCA登録の有無にかかわらず、低料金でYMCAのプログラムを体験できるというもので、一昨年度より実施しています。今回は、立川市の昭和記念公園にて、幼児・小学生に分かれてプログラムを行いました。当日は直前まで天候が心配されましたが、その心配を吹き飛ばすほどの晴天のもと、53名の子どもたちとリーダー・スタッフを合わせて82名が公園での1日を楽しみました。また参加者の中には、4月のさくらフェスティバルにて、木のペンダント作りを体験した子どももおり、一つひとつのイベントのつながりも感じられました。今回初めてYMCAを知った子どもたちやその保護者の方々が、今後もYMCAへとつながり、さらに広がっていくことを願っております。

さて6月に入り、サマープログラムの申込み受付が開始いたします。今年も多くの子どもたちや参加者、そしてボランティアリーダーたちにとって、豊かなプログラムとなるよう準備を進めてまいります。

＜西東京センター及び東京 YMCA の主な予定＞

- 6/7 知的障がい児・者余暇活動「あおぞら・つばさの会」6月例会
発達障がい児グループ活動「Smile」6月例会
- 6/2 サマープログラム申込み受付開始（維持会員及び定例活動登録者）
- 6/4 サマープログラム申込み受付開始（一般）
- 6/5 ディレクターキックオフ
- 6/9 座学リーダートレーニング（リーダーの役割）
- 6/13-14 知的障がい児・者余暇活動「シャベルズ・いづみの会」6月例会（一泊会）
- 6/14 発達障がい児グループ活動「Smile」6月例会（中高生）
幼児野外活動「にこにこ」6月例会
小学生野外活動「ロビンソン」6月例会
中高生グループ活動「TeenS」6月例会
- 6/15 座学リーダートレーニング（発達障がい児者との関わり）
- 6/19-21 実技リーダートレーニング（東京 YMCA 山中湖センター）
- 6/26-28 実技リーダートレーニング（ぐんま YMCA 赤城キャンプ）
実技リーダートレーニング（東京 YMCA 野尻キャンプ）

＜お知らせ＞

今回のアジア大会にモンゴル・ウランバートルY・サクラブから会長以下4名が参加します。大会出席後2～3日東京滞在予定です。歓迎しましょう！

6月のハッピーバースデー 竹中ワイズ（休会）（1933.6.4）

6月例会は6月10日19時 YMCA西東京センター。

6月例会は今年度メンバー一人ひとりの総括、自分の存在意義を改めて考えクラブ活動の総括につなごうましよう。

司会 野尻ワイズ 聖書祈禱 伊佐ワイズ 受付 山本・松田ワイズ